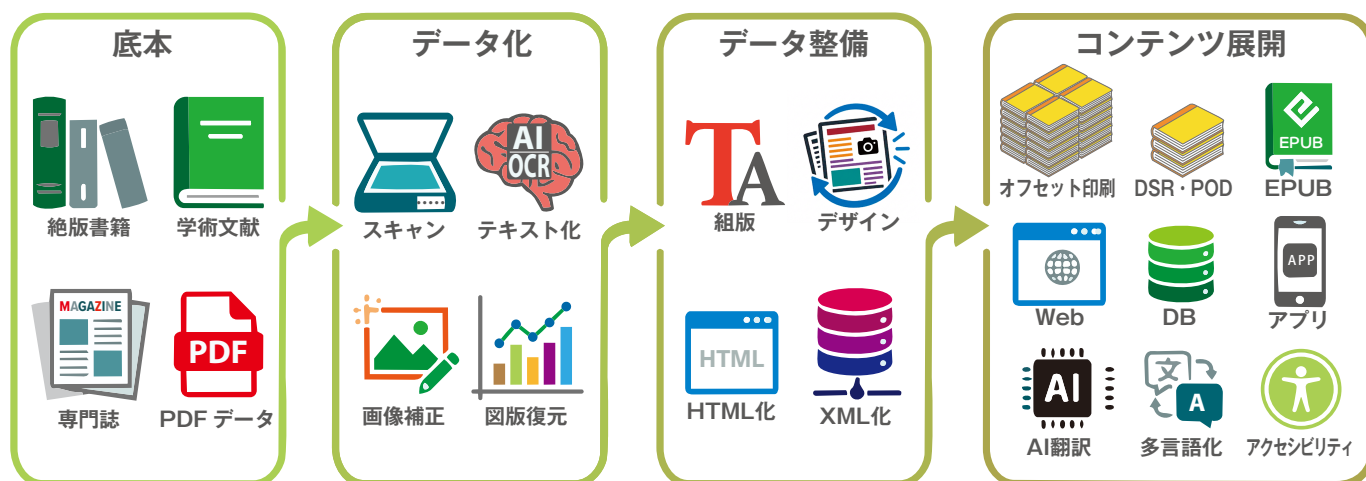


書籍の復刻版制作のご案内

大切な資料や絶版書籍を、再び情報資産として活かしたい。
DSRやPODを活用した再刊行のほか、電子書籍化やWeb公開など、
将来の活用を見据えた最適なデータ化方法をご提案します。



■復刻版の作成

当社では、絶版・希少書籍、専門誌のバックナンバー、学術文献、社史など、入手が難しくなった資料や長期保存に課題のある資料をデータ化し、紙媒体や電子媒体として再活用するサービスを提供しています。単なる保存にとどまらず、電子書籍化やWeb公開、多言語展開など、用途に応じたさまざまな活用方法に対応しています。

紙の書籍として復刻する場合は、底本の紙面レイアウトを忠実に再現するとともに、修正や再利用が可能な組版データとして制作します。

こうしたデータは、改訂新版の刊行や重版への対応はもちろん、DSR（デジタル・ショート・ラン）やPOD（プリント・オン・デマンド）といった少部数印刷にも対応します。必要な時に必要な部数だけを印刷できるため、データさえ保有していれば、貴重な出版コンテンツを絶版にすることなく継続的に読者へ届けることができます。

■データ化とその整備方法

データ化にあたっては、底本の状態や活用目的に応じて、スキャンによる画像データ化、またはテキストデータ化のいずれかの方法を選択します。

スキャン・画像化では、高精細スキャナで資料を取り込み、紙面の情報をそのままデジタルデータとして保存します。原本の状態を忠実に保持できるため、アーカイブや保存を目的とする場合に適した方法です。

一方、底本を再刊行したり、新たなコンテンツとして活用したりする場合には、テキストデータ化が有効です。その際は、OCRと校正作業を組み合わせる編集や検索が可能なテキストを作成します。縦組みや旧字・旧仮名遣いにも対応しており、近年ではAIを活用した効率的なテキスト化も行っています。

写真は画像補正やモアレ除去などを行い、できる限り底本に近い状態へ復元します。また、図版は画像修正や描き起こしによる品質向上が可能です。地図、図表など、それぞれの素材の状態や用途に応じて最適な方法をご提案します。

作成したデータは、その後の利用目的に応じて適宜整備します。新たに組版を行い、新版として制作する場合は、あわせて判型やレイアウトの見直し、デザインの刷新にも対応します。

また、HTML化やXML化を行うことで、章や節などの構造を整理し、コンテンツを活用しやすい形に整備できます。構造化されたデータは、Webやアプリ、データベースなど、多様な用途へ展開できます。



■目的に合わせた多様なコンテンツ展開

データ化したコンテンツは、用途や利用シーンに応じてさまざまな形で公開・活用できます。

電子書籍ではEPUB形式やPDF形式での制作に対応しており、閲覧環境や利用目的に合わせた公開が可能です。また、Webブラウザで閲覧できるHTML形式での公開にも対応しています。ページめくり機能やスマートフォン・タブレットに対応したレスポンス設計に加え、目次や索引からの移動機能、全文検索機能など、利用者の利便性を高める機能を組み込むことも可能です。資料を単に保存・公開するだけでなく、より利用しやすい形で提供することができます。

紙媒体と電子媒体を同時に制作する場合は、共通のデータを活用することで効率的に進行できます。

また、全文検索機能や書誌データベースを備えた検索システムを構築することも可能です。複数の資料を横断して検索できる環境を実現することで、研究資料やアーカイブ資料としての活用を促進します。iOS・Android向けのアプリとして提供すれば、オフライン環境での閲覧や定期的なコンテンツ更新にも対応でき、利用シーンをさらに広げられます。

このほか、AI技術とWeb制作技術を活用した多言語化にも対応しています。英語・中国語・韓国語など多様な言語に展開することで、国内外でのコンテンツ活用を促進します。

また、ルビの付与や文字サイズ・書体・配色への配慮を行うことで、ユニバーサルデザインやアクセシビリティに対応したコンテンツ制作も可能です。

これらのアレンジは単独での導入はもちろん、複数を組み合わせて構築することもできます。こうした活用を予定している場合は、データ化の段階からご相談いただくことで、後工程への展開をよりスムーズに進めることができます。

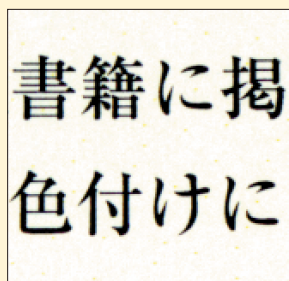
■対象底本と作業の流れ

対象となる底本は、絶版・希少書籍、古典・学術文献、社史・年史、業界専門誌のバックナンバーなど多岐にわたります。経年劣化した紙資料や旧字体・縦組みの資料にも対応しており、モノクロ・カラーを問わず、写真や図版を多く含む資料も取り扱っています。

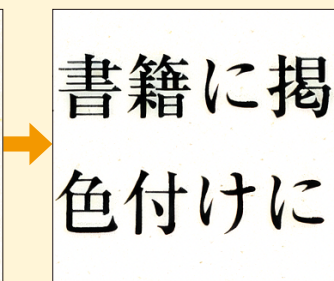
また、すでにPDFやDTPデータをお持ちの場合は、それらを活用して効率的に制作を進めることも可能です。まずは資料の状態や活用目的をお聞かせください。保存状態や判型、ページ数などの基本情報に加え、ご希望の納期やご予算などをお知らせいただければ、最適な進行方法をご提案いたします。

制作開始後は、スキャンからテキスト化、組版、校正、検査までを社内で一貫して行います。各工程で内容を確認いただきながら進行するため、安心してお任せいただけます。

組版データのない書籍のDSR向けデータ制作サービス



アーカイブデータ



600dpiにアップスケール

組版データが存在しない書籍をDSR（デジタル・ショート・ラン）印刷用に全ページ新規組版すると、多大な制作コストが発生し、小ロット印刷のメリットが損なわれてしまいます。そこで当社では、スキャン画像を活用したDSR向けデータ制作を提案しています。底本が残っている場合、当社で1200dpiの高解像度スキャンを行います。300dpi程度のアー



アーカイブデータ



600dpiにアップスケール

カイブデータを保有している場合は、Photoshopの「生成アップスケール」機能を活用し、600dpiへ高解像度化することで、印刷に耐えうるデータへ変換します。

奥付など内容の改訂が必要なページのみを原本と同体裁で新規組版することで、コストを抑えながら組版データのない書籍を復刻することが可能です。